

竜んおとし子

t a t s u n o t o s h i g o



出張健康相談の様子

CONTENTS

目次

- 02 | 令和6年度 平戸市病院事業決算報告
- 03 | 業務動向
- 04 | 第20回 Summer Camp 2025 in HIRADO
- 07 | 健康診断に行こう
- 09 | 風物はくすり～本を出版します編～
- 10 | 食事で困っていることはありませんか？
- 11 | 栄養管理室だより「いただきます」
- 12 | 外来診療カレンダー

2025
No. 85
2025.10.15

令和6年度 平戸市病院事業決算報告

平戸市民病院と生月病院は、平戸市病院事業として、地方公営企業法の全部適用を受け、原則、独立採算制をとっており、入院・外来などの診療費を主な収入として経営しています。地域に不可欠な病院が持続的に、安定的な経営を行っていただけるよう職員一同、鋭意努力しているところです。

令和6年度の決算と事業概要がまとまりましたのでお知らせします。

収益的収入 22億7,104万円

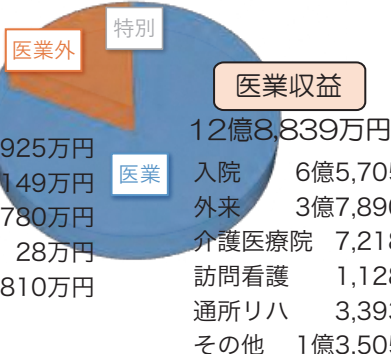
平戸市民病院 15億7,507万円

特別利益 976万円 過年度損益修正益 346万円
長期前受金戻入 500万円
その他特別利益 130万円

医業外収益

2億7,692万円

負担金交付金 1億9,925万円
患者外給食 149万円
長期前受金戻入 6,780万円
補助金 28万円
その他 810万円



収益的支出 24億543万円

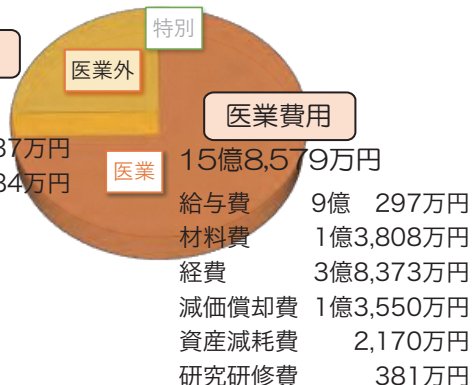
平戸市民病院 16億5,157万円

特別利益 457万円 過年度損益修正損 434万円
その他特別損失 23万円

医業外費用

6,121万円

支払利息 637万円
雑損失 5,484万円



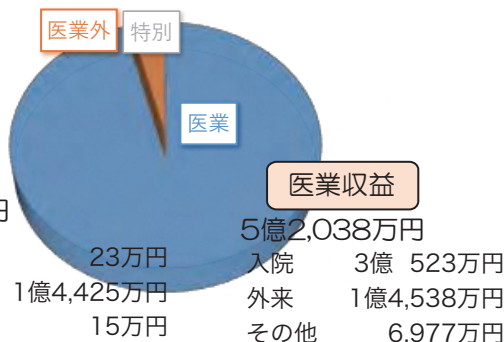
生月病院 6億9,597万円

特別利益 101万円 過年度損益修正益 51万円
その他特別利益 50万円

医業外収益

1億7,458万円

受取利息配当金 23万円
負担金交付金 1億4,425万円
患者外給食 15万円
長期前受金戻入 2,617万円
その他 361万円
補助金 17万円



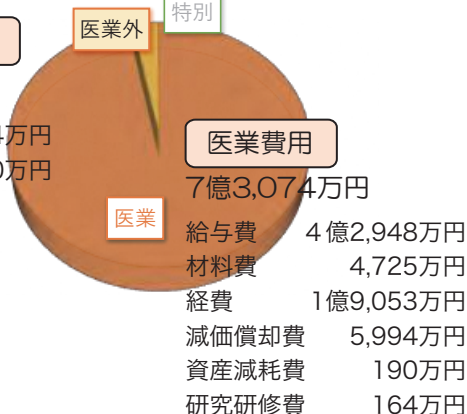
生月病院 7億5,386万円

特別利益 98万円 過年度損益修正損 98万円

医業外費用

2,214万円

支払利息 4万円
雑損失 2,210万円



◆令和6年度主要指標

	医業利益	経常利益	純利益	企業債残高
平戸市民病院	△2億9,740万円	△8,169万円	△7,650万円	3億724万円
生月病院	△2億1,036万円	△5,792万円	△5,789万円	4,118万円

決算概要

経営状況につきましては、収益的収支において、税抜きで、収入総額22億7,104万円に対し、支出総額24億543万円と、差引1億3,439万円の純損失となっております。病院別に見ると、平戸市民病院では、令和6年11月から地域包括ケア病床の増床を行うことにより、令和5年度を上回る入院収益となりましたが、外来収益等の減少に伴い、7,650万円の純損失となりました。生月病院では、入院患者及び外来患者数の減少により5,789万円の純損失となりました。

現在、持続可能な地域医療体制を確保するため国から示された公立病院経営強化ガイドラインに基づき、策定いたしました令和5年度から5年間の平戸市立病院経営強化プランに沿って取り組みを進めております。取り組みの一つである医師確保対策につきましまして、令和6年度に長崎県医師確保計画に基づく医師少数スロット指定により医師1名の派遣を受けています。また、長崎大学病院内に設置されています「国境を越えた地域医療支援機構」との共同事業により継続して医師確保に努めています。なお、医師以外の医療人材の確保につきましても看護師の募集年齢の引上げを行うなど新たな人材確保に努めています。

平戸市民病院・生月病院は、平戸市内外の医療・福祉・介護施設との連携のもと、地域に寄り添う包括ケアサービスの実現に取り組んでいます。

◆患者動向

区 分		入院患者（人）		外来患者（人）		患者延数 （人）	病 床 数			病床利用率 （％）
		延数	1日平均	延数	1日平均		（床）	一般	療養	
市民病院	本年度	23,514	64.4	36,866	151.7	60,380	87	58	29	74.0
	前年度	24,027	65.6	37,873	155.9	61,900	87	58	29	75.5
	比 較	△513	△1.2	△1,007	△4.2	△1,520	0	0	0	△1.5
生月病院	本年度	11,976	32.8	20,058	82.5	32,034	52	52	—	63.1
	前年度	13,168	36.0	22,085	90.9	35,253	52	52	—	69.2
	比 較	△1,192	△3.2	△2,027	△8.4	△3,219	0	0	—	△6.1

◆正規職員数（単位：人）

（令和7年3月31日現在）

区 分	事 務	医 師	薬 剤 師	栄養士	放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	臨床工学士	社会福祉士	診療情報管理士	看護 師	計
市民病院	5	6	2	2	2	3	7	3	1	1	0	1	54	87
生月病院	3	3	1	1	1	2	2	2	0	0	1	0	19	35

◆固定資産明細（単位：万円）

区 分		土地	建物	構築物	器械備品	車両	リース資産	建設仮勘定	合計
市民病院	今年度増加額	0	0	4,443	8,986	237	0	0	13,666
	今年度減少額	0	0	3,867	7,301	200	0	1,600	12,968
	年度末残高	18,717	202,763	109,924	112,815	2,717	0	0	446,936
生月病院	今年度増加額	0	0	0	4,150	0	0	0	4,150
	今年度減少額	0	0	0	3,584	0	0	0	3,584
	年度末残高	741	96,459	1,202	56,926	271	0	0	155,599

◆年度別純利益（損失）の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市民病院	△1,079万円	1億1,956万円	1億7,443万円	5,622万円	3,862万円	△7,650万円
生月病院	△3,183万円	△3,206万円	5,200万円	4,817万円	4,182万円	△5,789万円

【市民の声等に寄せられたご意見について】 職員の接遇面についてご指摘を受けております。このご意見を受け、全職員を対象に「接遇」について講習を行うこととしました。この度は貴重なご意見をありがとうございました。

8月29・30日の2日間、平戸市民病院において夏合宿を開催しました。全国から、地域医療と途上国での医療活動を行っている、または関心のある医師や医療従事者、医学生など70名が参加しました。今年は、機構が発足して20年目の節目にあたり、トークイベントや研修を終えた医師からのビデオレターの放映が行われました。

平戸の自然や人々に触れながら、参加者たちは医療の本質や、支える側の覚悟を改めまして実感していました。

今回の取り組みを通して、平戸から全国へ、そして世界へとつながる医療の輪がこれからも広がっていくことを願っています。



参加者の声

私は、2015年から夏合宿に参加していますが、今回は6年ぶりに地域医療実習が行なわれ、平戸市民病院での通所リハビリを選択しました。

私達が伺った時間は、「おやつの間」でした。患者さんが、おやつを召し上がっている間に、リハビリの定義をご教示いただきました。そして、患者さんの帰宅時には、対向車とギリギリの道路を走るなど、ドライバーの運転テクニックに脱帽でした。ただ、患者さんとのコミュニケーションの時間が短かった事が心残りです。

最後に、平戸市長をはじめ、平戸市民病院に従事されている方々、機構の方々には、大変お世話になり、ありがとうございました。

東京大学医学部附属病院 看護補助者 N

参加者の声

医師のみならず、様々な方の連携によって地域医療が成り立っていることを実感できた。

長崎大学医学部1年 M

医師以外の話を聞く機会が今まで多くはなかったので、お話を聞けてよかった。医療の話にとどまらず、地域医療とはなんなのか、長崎の医療を支えてきた先人たちの話など、色々な視点から地域医療を考えることができました。

長崎大学医学部1年 K

地域医療においては連携や人との繋がりが、地域愛が大切であることがわかりました。

長崎大学医学部1年 S

地域医療を支える多職種シンポジウム



パネラー

- 前田 孝典(国民健康保険 平戸市民病院 臨床検査班技師)
近藤 司(国民健康保険 平戸市民病院 薬剤班技師長)
崎村 千尋(平戸市役所 地域包括支援センター 社会福祉士)
塚崎 邦弘(国民健康保険 平戸市民病院 医師)

こんにちは。医師35年目の松井利浩@岡山大学卒です。地域医療を考える夏合宿in平戸、20周年おめでとうございます。これも調先生、押淵院長、中桶先生、そして度島さんをはじめとして、このプロジェクトに関わって来られた方の「努力と継続の賜物」と私は思っております。

私は、兵庫県姫路市の民間病院(病床200床)で脳神経外科の専門医として医療に携わっております。今から11年前の2014年に中桶先生の大学の同級生である兵庫県明石市の譜久山先生のご縁あって「地域医療を考え・体験する夏合宿in平戸2014」に参加したのがきっかけで、私は平戸の夏合宿に参加するようになりました。

私が中学・高校生のころに「夢見たお医者さん」は、「何でも色んなこと(医学以外のことも)を知っていて、何でも治せるお医者さん」でした。1991年に大学を卒業する時に脳神経外科を選択しましたが、当時の岡山大学の脳神経外科では、赴任先の関連病院において救急医療の最先端に立って、脳疾患も(?)診るという状況でしたので、今で言うところの「総合診療」に似たような状況でありました。事実、私が半年ほどの大学の研修を済ませて卒業初年度に赴任した愛媛県の病院は対象人口6万人の総合病院で、1か月に3〜4回の全科(内科系・外科系)当直をしておりました。

そのころから、救急医療現場において

DAY2 8月30日(土)



機構開設 20 周年特別企画

機構開設20周年 ヘき地から国境へ ―地域医療の軌跡と希望を語るトークイベント―



挨拶:平戸市長
黒田成彦



演題:「平戸市における地域医療」
〜地域包括ケアと地域づくり〜
講師:押淵 徹(国民健康保険
平戸市民病院 院長)



演題:ヘき地医療人材育成の新しい
展開を目指した20年
講師:調 漸(長崎大学病院 国境を
越えた地域医療支援機構 顧問)



演題:国境を越えて見えてきたこと
講師:有吉紅也(長崎大学病院 国境を
越えた地域医療支援機構 顧問)



演題:0/500の軌跡
〜地域医療教育20年目〜
講師:中楠了太(国民健康保険
平戸市民病院 副院長)

参加者の声

機構の歴史や苦労について知り
ました。本日の機構はさまざまな
人の協力や努力の上に成り立っ
ていることがわかりました。

長崎大学医学部1年 K

自分は長崎県出身ではありません
が、平戸で地域医療がこんなにも
推進されているとは知りません
でした。研修に来る医師の数が非
常に多いことを知り、とても驚
きました。せっかく地元で盛ん
に行われているので、自分も
将来勉強に來たいと思います。

長崎大学医学部1年 M

地域医療講演会 I



演題:平戸研修卒業生の、ちょっと
変わった医師の道
〜大学と起業と企業の15年間〜
講師:井上 祥(横浜国立大学共創イ
ノベーションセンター 特任准教授/
株式会社GENOVA 取締役)



演題:地域と共に学び、哲学する
医療人養成
講師:谷口純一(天草地域医療セ
ンター 総合診療科部長)

研修医や医学生你真剣な姿勢や
平戸市民病院の皆様にあたたかな
雰囲気を感じ銘を受けました。井上
先生の講演は、平戸でのマインドが

参加者の声

地域医療と海外でのMSFの医療
は全く異なるように思えるが意
外な共通点を知ることができ、医
師の道も様々な道があると分か
ったです。

長崎大学医学部1年 T

MSFでの経験について直接聞く
ことは初めてだったので、内容が
とても新鮮でした。黒崎先生が大
切にされていた、他文化への理
解と尊重は地域医療においても
住民との良好な関係作りという
点で重要だと思いました。

長崎大学医学部1年 K

地域医療講演会 II



講師:黒崎伸子
(国境なき医師
団日本 元会長、
黒崎医院 院長)
演題:医療を必要とする人々
に未来への光を…地域でも、
海外でも

井上先生は、医学部を卒業され
てから起業であつたり大学の講
師をしたりと様々なことをして
行きたりもする感じがした。その
中でも平戸での数ヶ月がとても
濃い時間だったとおっしゃられ
ていた。これは他の地域では味
わえない経験をする事ができる
のだと思いました。

長崎大学医学部1年 K

参加者の声

キャリアの全てのフェーズで息づ
いていて、とても心に残る講演
でした。谷口先生の「地域と共
に学び、哲学する」というメッ
セージは、地域に根ざす医師と
しての在り方を問う機会となり
ました。貴重な機会を準備して
くださった関係者の皆様に心
より感謝申し上げます。

織田病院総合診療科 織田良正

ワークショップ テーマ:「平戸を世界一健康なまちにするためには」



コメンテーター:八坂 貴宏(長崎県対馬病院 院長)
ファシリテーター:近藤 裕哉(長崎大学医学部医学科4年)
中楠 了太(国民健康保険平戸市民病院 副院長)
山田 琢生(国民健康保険 平戸市民病院 専攻医)
近藤 孝憲(国民健康保険 平戸市民病院 専攻医)
濱田航一郎(長崎大学病院 総合診療科 助教)
池田恵理子(長崎大学病院 総合感染症科 助手)
杉本 尊史(長崎大学病院 国境を越えた地域医療支援機構 助手)

は「何でも診る」という感覚が私の体
に染みついていたのかもしれない。そ
んな中で医学部を卒業して23年を経
た2014年に平戸の夏合宿で、「総
合診療」という考え方を教えていた
きました。私は現在、脳神経外科医
としての専門性も発揮しながら、訪
問診療にも携わっており、そこでは患
者さんの多種多様な健康問題や社会
問題について「チームみんな」で考
えて、対応していく機会を得させて
いただいております。それも、地域
医療夏合宿 in 平戸で学んだことによ
るものです。これからも、平戸の地
域医療研修の夏合宿が続く、皆様と
一緒に学んでいきたいと思ってい
ます。

姫路中央病院 脳神経外科
部長 松井利浩



健康診断に行こう



最近、いつ受けてましたか？

平戸市民病院 健診班

みなさん健康診断は年に1回受けていますか？

「毎年は受けていない」とか、「通院しているから大丈夫」「元気だから大丈夫」「どうせ結果はわかっている」・・・いろいろな答えが返ってきそうです。

どなたでも、健康診断を受ける権利があります。年に1回、体の状態を知ることが健康を守る第一歩です。ぜひ受けましょう。

自分の健康を守るのは大事！

あなたは健康ですか？と聞かれたら、胸を張って「健康！」といえますか？「まあ健康かな？」と思った方はなぜそう思いましたか？どこも痛くないから？病気をしていないから？毎日元気に動けるから？身体というのは意外に頑張り屋です。少しの異常では、生活に支障がでないよう頑張ってくれます。まだまだ若いほうだし・・・どこも痛くないし・・・つらい症状もないし・・・それは本当の健康といえるのでしょうか？一度考えてみましょう。

からだの変化に気づこう!!

生活習慣病（脳卒中、心臓病、糖尿病など）は、自覚症状がないまま進行していきます。偏った食生活、運動不足、喫煙などの生活習慣を続けていると、そのうち深刻な病気に至るかもしれません。

大切なのは、早めに体の変化に気づくこと。

自覚症状のないときこそ健康診断を利用してください。

通院中の場合でも、生活習慣病の危険因子発見に役立つ場合が多いので、健診を活用しましょう。



誰でも受けられます

「特定健診」を活用すれば、低料金で内容が充実しておすすめです。

当院では協会けんぽ生活習慣病予防健診、平戸市国保人間ドック、平戸市国保脳ドック、その他がん検診、その他共済ドックなどの人間ドックを受けることができます。

まずは、平戸市民病院 健診班まで お問い合わせください。



平戸椎茸

— ふるさとの味 —

ひらどロマン

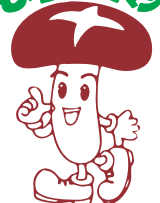
ひらどロマン

平戸市森林組合

平戸市宝亀町91-1
TEL 0950-28-0300

(有)井元産業 しいたけ生産部

平戸市戸石川町7-1
TEL 0950-22-3104



受けてからが大事です

健康診断を受けたら、結果報告書が送付されます。

一目見てそのままにいませんか？健康診断の最も重要な点は結果を基に生活習慣を見直し、必要な医療機関を受診することです。もうひとつ大事なことは過去のデータと比較すること。年々変化する数値を比較することで健康状態の経年的な変化を把握できますので、病気の早期発見に役立ててください。結果が出たら、そこからが大事ということなのです。

その1

総合判定

「要治療」……………速やかに医療機関を受診し治療を開始しましょう。早期受診は重症化や進行を防ぎ早期の治癒につながる可能性があります。

「要精密」……………見つかった異常の原因を分析し治療が必要かどうかを確認する検査が必要な状態を指します。放置せず、できるだけ早く医療機関を受診して精密検査を受けてください。

その2

「経過観察」……………結果が「正常ではないが、すぐに治療や精密検査は必要ありません」という意味であり、今後も定期的に状態の変化を監視しつつ、必要に応じて生活習慣の改善や再検査を行う必要がある。という意味です。

※もし「経過観察」などの場合でも、コメント欄の内容をよく読んでください。

「ちょっと血圧が高いけど、経過観察だから大丈夫大丈夫!!」

「コレステロールが少しずつ高くなってきているけど・・・要精密じゃないから大丈夫大丈夫」

「肝機能も今まで高くてもなんともないから、今回もたいしたことないだろう」**ちょっと待った!**そこが運命の分かれ道!

生活習慣を改善するヒントがそこにあります。

ささいなことからでも、ひとつ生活習慣を変えてみると、病気の危険が減るのです。

年に一度の健康診断でホッと一安心してみませんか？



当院での特定健診について

電話(28-1113)予約

当日受診時の受付時間：8：30～11：00



必ず今年度の
日程表と受診券
の確認を



平戸市民病院 健診班

令和7年度

当院で特定健診を受けられる方へ

期間：R7年7／1～11／28

上記の期間となっております



平戸市民病院健診班



風物はくすり ～本を出版します編～

平戸市民病院薬剤班 近 藤 司

「幸せ」とは何ですか。

「2025年夏 平戸市民病院・医療体験」。東京や大阪、広島などから将来、医師を志す高校生が当院で医療実習を行った。彼らは事前にエントリーシートを提出し参加に至るのであるが、その中で「あなたは人を幸せにすることに對してどのように向き合いますか」という質問が生徒に対しなされている。これに對し、ある生徒はこう答えている。「大切な人の大切なことを守れること、自分の大切なものを大切にもらえること」が幸せであると述べ、「辛いことをひとつずつでも取り除けるように」という願いをこめ結んでいる。

僕はこの答えにたどり着いた高校2年生に、薬局実習を終えた際に一つの言葉を餞に送った。

「大切だと感じていない人、むしろ苦手と思う人の悲しみに寄り添ってください」。

2025年8月9日。今年は原爆投下80年を迎える年である。この被爆投下直後の爆心地浦上は70年は草木も生えず人が住めないと言われる焼き尽くされた荒野であった。虚脱と絶望、悲しみが支配するこの世界に確かな希望をもたらした人物がいた。平戸出身のカトリック司祭である中田藤太郎神父である。彼は被爆した多くの人々の心を癒し、命を看取るとともに絶望に打ちひしがれた2千に余る浦上の人々を励まし、再建は不可能と思われた浦上教会聖堂の建設を成し遂げた。さらに、傷ついた多くの人々のために病院を再建、さらに戦災・被爆孤児のための養育院の再建までも手掛けたのである。また、彼は教会共同体の復活は建物だけではありえない。家族の再建こそ、最も大事な地域コミュニティの再建であると考えた。夫を亡くした人には夫を、妻を亡くした人には妻を、子を亡くした人には子を、親を亡くした人には親を得ることが出来るように奔走したのである。世界で唯一の被爆地で、平戸出身司祭の手によって最も早く再建された浦上の信仰と医療と福祉そして、地域コミュニティ。70年草木も生えないと言われ、釘も瓦も無く医薬品も手に入らない物資不足の中で、中田神父はわずか着任2年で今に至る浦上の基礎を築いたのである。これは浦上の人々にとってまさに目に見える希望であった。

中田神父は長崎医科大学の教授でカトリック信徒でもあった永井隆博士の書斎兼住宅をも建設した。「如己堂」である。この如己という名前は聖書にある「隣人を己の如く愛せよ」すなわち「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉からとったものである。この隣人とは誰か。大切な人々のみのことなのであるのだろうか。

原爆投下後間もなくして、アメリカの兵士たちが崩壊した天主堂に向かい祈りを奉げるようになった。彼らは自分たちが破壊した天主堂の残骸と、それを復興するために汗泥にまみれた中田神父に向かって心から詫言った。中田神父は隣人である彼らの手を取り赦し、祈りを奉げるという愛を示したのであった。

中田神父は、灰と瓦礫に溢れた絶望の世界に、愛をもたらすことにより確かな希望を作った。そして、人々に次のように語っている。

「あなたがたも月であり、星である」。

神父だけが人々の希望となる光ではない。あなたがた自身も暗闇を歩く隣人の光となって照らす希望であるようにと。

被爆80年、中田神父自身ですら、もはや浦上の焼け跡に輝く忘れられた星となってしまっている。そのため今年、師の生涯をまとめた本を執筆、上梓することとなった。

80年前、傷を癒す薬は無かった。無論、当時から今に至るまで「幸せ」をもたらす薬などあるはずもない。希望こそが幸せの種である。希望は誰かを愛することによって生まれる。愛とは、耐えることであり、赦すことである。与えて、与えて、与えつくすことである。愛する者の幸せを守り、その人を救うために惜しみなく、そむかれ、裏切られ、更に誤解された時ですら、裏切らず、憎まず、大切にすることである。

この夏、人を幸せにすることに真剣に向き合った彼ら高校生は、もうすでに月として星としての輝きを得ているのだと、僕は信



『道のさなか
～中田藤太郎神父様を想う～』

じて止まない。

食事で困っていることはありませんか？

～自宅で出来る工夫の紹介～

食事は生命維持のために欠かせない活動であると同時に、楽しみや家族の団らん等の生活を豊かにする人にとって欠かせない活動です。普段、お皿、コップ、箸等を使用して何気なく行えていることが、病気やケガ、加齢によって思い通りに食事が出来なくなることがあります。出来なくなった動作を補う様々な自助具がありますが、いざ使うとなると使い方がわからなかったり、高価で購入することを選ぶ方がいるのではないのでしょうか。このような困りごとに対して、今回は自宅で出来る工夫についてご紹介したいと思います。

【お皿の選び方】

×



平皿で底が浅いものは掬いにくい。

○



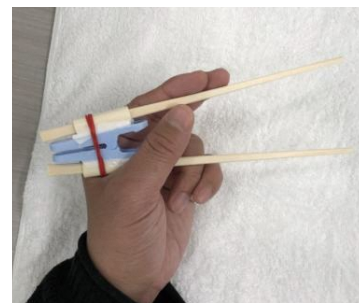
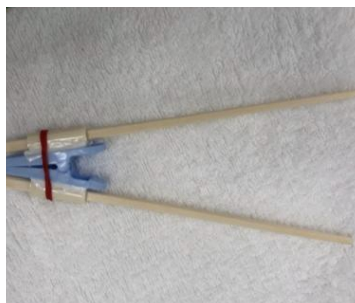
底が深く、角があるものは食べ物が寄せやすく、お皿の下に滑り止めを敷くと片手でも掬いやすい。

【紙コップでU字コップを作る】



紙コップの淵をU字に切る。首が硬い方でも顔を上げずに飲むことが出来る。顎を引いて飲み込むことは誤嚥の防止になる。

【洗濯ばさみと輪ゴムでバネ付き箸を作る】



洗濯ばさみのバネをペンチで外し、ビニールテープ、輪ゴムで箸に固定する。握力が弱い方、手に麻痺がある方でも簡単に箸が使える。

* 上記のコップ、箸は自助具の導入前のお試しでご活用下さい。食べ物を直接扱うものになりますので、長期的に使う際は衛生面から自助具の検討をお願いします。

ご相談等は生月病院リハビリ室までお気軽にお問い合わせください。

高校生の医療体験学習

医師になりたい高校生が平戸市民病院で学ぶ医療体験学習が今夏も行われ、7月26日から8月2日にかけて生徒4人と医学生メンター2人、アテンドスタッフ1人が平戸に滞在しました。

未来を担う若者たちに良質な医療体験を提供するNPO法人「Touch the Future（略称、TF）」と連携して実施した企画で、昨夏に続き2回目の実施。今夏は東京、大阪、山口、長崎から生徒4人が参加をしました。

プログラムの特徴は生徒一人ひとりが入院患者さんを担当し、「患者さんの願いを聞き出し、その人の幸せが何かを探る」という課題が出ること。症状や暮らしぶりを聞き出し、日常に寄り添った医療を提供することが医師の基本となるからです。今回も生徒4人は患者さんを担当しながら、院内では外来診察やリハビリなどを見学。筑波大学と長崎大学の医学生メンターのサポートを受けながら多岐にわたるプログラムを体験

し、担当患者さんのベッドサイドに足を運びました。

先端の医療機器があるだけが良い病院ではないことに気づいたと言い、1週間をこう振り返りました。「良い治療とは病気を治すことだけではないのだと考えるようになりました。患者さんが笑顔で暮らせるよう努めることも治療において大切で、患者さんの幸せは医療の正解と一致しないこともあるのだと気づきました」。

平戸は平戸にあるもので最大限がんばって患者さんたちに手を差し伸べていることに感銘を受け、心の健康も大切にできる医師になるという目標ができたそうです。

平戸育ちで将来、医師として地元で働きたいという生徒も参加をしていました。その目標を叶えるため多くのスタッフに積極的に声をかけた生徒は、こう明かしています。「医師は魅力的でかつこ良いスペシャリストだと思われがちで、私もそう考えている一人だった。でも、院内では看護師・リハビリ療法士・薬剤師らが、院外でも介護に携わるスタッフがお互いに密接に連携しながら患者さんを支えていた。自分一人で患者さんを救っているわけではないことを、きちんと理解できる医師にならないといけないと思いました」。

「なぜ医者を目指すのか」「なぜ医者じゃないとダメなのか」――。

こんな根源的な問いを院内で模索しつづけた生徒もいます。質問された研修医やベテラン医師は「人の死に関わる仕事であり、最期の迎え方を決める仕事」「どうしても救えなかった患者さんのことは今でも忘れられない」など、自分たちの体験を振り返りながら医療に携わる意味や目的を語りました。

生まれも育ちも異なる、医師になりたいと願う4人の生徒たち。ときには医療に携わる喜びを体感し、ときには現代医療でも救えない命があることに直面し、「正解のない問い」に向き合った1週間を過ごしました。

今回の医療体験では多くの平戸市民がサポートしてくれました。生徒たちは、7月26日（土）と27（日）、「医療圏を探索するフィールドワーク」を行い、食品や生活必需品を移動販売に頼るお年寄りたちから通院する難しさを教わりました。また、「高齢者の家には飲み切れない処方薬が余っている」「病院の待ち時間が長い」といった厳しい指摘に耳を傾けた一方、それでも住みつづけた魅力が平戸にあることを聞き、人々のリアルな声が地域医療へ理解を深めてくれたと言えます。



たんぱく質について



たんぱく質は三大栄養素のひとつで、炭水化物や脂質と同じく体のエネルギー源として重要な役割を果たします。

たんぱく質は、体を構成する主要な成分となり、爪や髪の毛、筋肉など、体のあらゆる場所に多く存在しており、抗体などとして免疫を担うものもあります。最近、筋肉が細くなってきた、疲れやすくなったという方は、たんぱく質が不足している可能性があります。

特に肉・魚・卵・大豆・大豆製品・牛乳などの食品から、たんぱく質をしっかりとることが重要です。

成人の1日に必要なたんぱく質量の目安として、体重(kg)×1.0～1.2gが推奨されており、体重50kgの人なら50～60gのたんぱく質が必要です。

(※腎臓機能が低下している人は、必要時、たんぱく質の制限がありますので、主治医へお尋ねください。)

【たんぱく質の含有量】

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| ・豚ロース(焼き) 50g (たんぱく質 約13g) | ・卵 1個 50g (たんぱく質 約6g) |
| ・アジの開き 130g (正味85g) (たんぱく質 約17g) | ・納豆 1パック 50g (たんぱく質 約8g) |
| ・豆腐 100g (1/4丁) (たんぱく質 約7g) | ・牛乳 200ml (たんぱく質 約7g) |
| ・ごはん 150g (たんぱく質 約4g) | ・食パン(6枚切) 1枚 (たんぱく質 約6g) |

○つくね焼き



【栄養価1人あたり】

エネルギー	282kcal	たんぱく質	19.1g
脂質	15.4g	炭水化物	14.6g
食塩相当量	1.4g		

【材料2人分】

A	鶏ひき肉	200g
	白ネギ(玉ねぎ可)	60g
	えのき	40g
	料理酒	大さじ1
	塩	ひとつまみ
	おろし生姜	小さじ1
	片栗粉	大さじ1
	サラダ油	大さじ1/2

(たれ用)

B	料理酒	大さじ1
	みりん	大さじ1
	砂糖	小さじ1/2
	濃口しょうゆ	大さじ1
	生姜汁	小さじ1
	片栗粉	小さじ1/2

(付け合わせ：お好みで)
キャベツ、アスパラガス(茹)

作り方

- ① 白ネギと、えのきをみじん切りにする。
- ② Aの材料を混ぜ合わせる。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、②を食べやすい大きさ丸めフライパンで焼く。片面に焦げ目がついたら、ひっくり返し、蓋をして蒸し焼きにする。(必要時、水50ml程度を入れ蒸し焼きにする)
- ④ ③に火が通ったら、Bを合わせ、フライパン内で③にからめ、たれが透き通ってきたら出来上がり。

快適な生活環境のお手伝い



有限会社 **鶴丸設備**

営業種目

給排水設備工事	浄化槽設備工事
浄化槽維持管理	浄化槽清掃

どんな小さな事でもお気軽にご相談ください。

TEL.0950-23-3629 FAX.0950-23-3921

CAR SHOP



田中モータース

新車・中古車販売
車検 点検 钣金 保険

田中モータース

〒859-5152 長崎県平戸市鏡川町1146-1 TEL 0950-22-2674

外来診療カレンダー

■平戸市民病院

診療科	担当医師	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	飯野 俊之	○※		○※		○※	○	○※		○※	
	中桶 了太	○※		○※	△	○※		○	△	○※	△
	山田 琢生			○※	△	○※			△	○※	△
	近藤 孝憲	○			△				△	○	△
	塚崎 邦弘	○※	○	○※		○		○※			
外科	押淵 徹			○		○				○	
	濱田 貴幸	○						○			
小児科	濱田 貴幸	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆	○	☆
眼科	九州大学 派遣医師	10月：6日、7日、20日、21日 11月：10日、11日、17日、18日 12月：8日、9日、22日、23日									

◆受付時間及び診療時間は以下のとおりです。

【受付時間】（午前）7：45～11：00 （午後）14：00～16：30

【診療時間】（午前）8：30～12：00 （午後）14：00～17：15

※予約患者優先。紹介状持参の方も事前に予約が必要。

◆午後の「△」は、いずれかの医師が輪番で診察します。

◆「禁煙外来」は休診中です。

◆「小児科」の診察は、16：30までとなります。それ以降の時間帯又は手術等の場合（☆）は「内科」で診察します。

◆①・③は毎月第1木曜日・毎月第3木曜日を表します。

（派遣医師）

診療科	担当医師	所 属	診 療 日
内科	延末 謙一	長崎労災病院	毎月第2金曜日（午前中）
	杉本 尊史	長崎大学病院	毎月第4金曜日
神経内科	調 漸	みなとメディカルセンター	毎月第3金曜日（午前中） ※予約患者優先
呼吸器内科	池田 徹	長崎労災病院	毎月第1金曜日（午前中） ※予約患者優先
脳神経外科	北川 直毅	長崎労災病院	毎月第2・第4木曜日（午前中） ※予約患者優先
整形外科	田中 奈津美	長崎労災病院	毎週火曜日 8：30～11：30 ※予約患者のみ

■生月病院

診療科	担当医師	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	山下 雅巳	○※		○		○		○		○	
	小村 哲永	○		○	○	○※		○		○※	○
	石塚 由美子	○	○	○※		○	○	○※	○	○	
整形外科	原 真一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※予約外診療、外科診療

（派遣医師）

診療科	担当医師	所 属	診 療 日
泌尿器科	川村 雅也	青洲会病院	毎月最終水曜日
循環器科	松永 和雄	嬉野温泉病院	偶数月の第4金曜日
整形外科	小林 誠		10月20日（月）～24日（金）午前中
			11月17日（月）～21日（金）午前中
			12月15日（月）～19日（金）午前中
眼科	前田 邦彦	まえた眼科	3か月に1回（詳しい予定は、生月病院へお問い合わせください。）

【編集・発行】平戸市立病院広報委員会 【印刷】有限会社ケンホクプリント

●国民健康保険平戸市民病院 〒859-5393 長崎県平戸市草積町1125番地12 ☎0950-28-1113 Fax 0950-28-0800

ホームページ <http://hirado-municipal-hospital.com/>

●平戸市立生月病院 〒859-5704 長崎県平戸市生月町山田免2965番地 ☎0950-53-2155 Fax 0950-53-3009

ホームページ <http://ikitsuki-hospital.com/>

平戸市民病院、生月病院は
救急医療機関です

平戸市民病院・生月病院は、365日、24時間、夜間又は休日において入院治療を必要とする重症患者に対して救急医療を提供する医療機関です。